



# なら賑わい通信

第86号 2015年12月20日発行

奈良市中心市街地活性化協議会事務局

〒630-8217 奈良市橋本町3-1きらっ都・奈良4F410号室

TEL/FAX 0742-26-1666 E-MAIL narachukatsujimu01@yahoo.co.jp

Blog <http://naracity-chukatsu.seesaa.net>

## 奈良市の市街地における飲食店に 統一ステッカーを配布しています

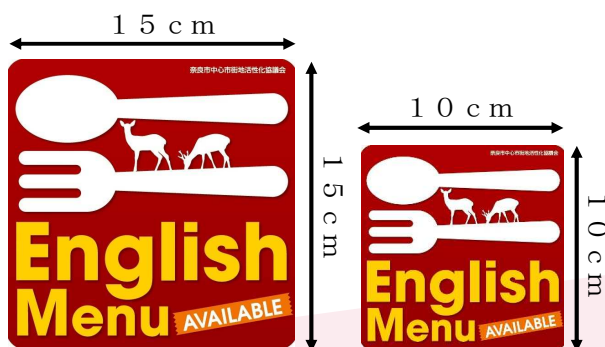


奈良を訪れる外国人観光客の増加を受け、本協議会では、英語表記のメニューを備える飲食店に貼り出す「統一ステッカー」を作成しました。エリア内に共通のステッカーを配布することで、奈良全体の観光イメージアップを図ることを目的とし、希望する店舗に無料で配布を行っています。

英語のメニューを作っても、道を歩く外国人のお客様に気づいてもらえなければ、お店に入ってもらえません。ステッカーを店頭に掲げていただき、通行者にアピールすることで、外国人観光客には「入店しやすく」、お店では「集客しやすく」なる効果が期待できます。

配布エリアは、近鉄とJR両奈良駅周辺の商店街のほか、きたまち・ならまち・奈良公園など外国人観光客が多数訪れるエリアの店舗を対象としています。ステッカーは奈良のイメージに合わせ えんじ色で、鹿などがモチーフとして描かれており、「英語メニューあります」を表す「English Menu Available」の文字を明記しています。

今回のステッカーの効果によっては、外国人観光客が「入店しやすい」環境を整えるために、中国語、韓国語などのステッカーについても検討していく予定です。



### 【ステッカーの概要】

**サイズ:** 一辺15 cmのものと、10 cmのものと2種類

**使用方法:** 店舗入口や看板など来訪者から見えやすい位置に貼付

**申込:** 対象エリア内に位置する飲食店で配布を希望される方は、協議会事務局まで（連絡先は本紙表面の上部を参照）

# 商業者向け外国語お悩み相談室開催！

奈良市中心市街地エリア内（近鉄奈良駅～JR奈良駅周辺エリア、きたまちエリア、ならまちエリア）の商業者向けに外国語（英語・中国語）お悩み相談室を開催いたします。

## ■「英語お悩み相談室」の開催について

今年の11月から来年の3月まで、毎月第4火曜の15時から20時まで、もちいどのセンター街にある「きらっ都・奈良」2階の「NARA EGG」において、中心市街地の商業者らを対象に「英語お悩み相談室」を開催しています。1回当たり10～30分程度で、簡単な文章の翻訳や会話のフレーズなどの指導、相談に応じています。予約は不要で、利用料金は無料（パンフレットの文章など印刷物の作成は別途有料）。相談・指導は英語など通訳・翻訳者による奈良ランゲージサポート「なららん」が担当しています。

【開催日程】12月22日（火）1月26日（火）2月23日（火）3月22日（火）

【開催場所】奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良2階「NARA EGG」

## ■「中国語お悩み相談室」の開催について

今年の12月1日から来年の3月末日までの毎週月曜日から金曜日において、商業者向けの中国語個別相談を実施します。1回当たり10～30分程度で、簡単な文章の翻訳や会話のフレーズなどの指導・相談に応じています。希望により、店舗を訪問してのアドバイスも可能です。事前予約制で利用料金は無料。相談、指導は、奈良市中心市街地活性化協議会に研修中の奈良女子大学ポストドクターの劉丹が担当。

【開催日程】平成28年3月31日までの月～金曜日（10時～16時）

【開催場所】奈良市橋本町3-1 きらっ都・奈良4階410号室（店舗を訪問してのアドバイスも可能）

【備考】予約制ですので事前にご連絡ください。

（連絡先）TEL：0742-26-1666（平日9～17時）

Email：narachukatsujimu01@yahoo.co.jp（随時）

# 『あるくん奈良スタンプラリー』が実施されました！



10月24日（土）～11月9日（月）（17日間）に第10回目となる「あるくん奈良スタンプラリー」が開催されました。

このイベントは、奈良国立博物館で行われている正倉院展を見ようと全国から訪れる観光客に対し、正倉院付近だけでなく中心市街地の街歩きをしてもらい、奈良のまちの魅力を知ってもらおうという趣旨のイベントです。

第10回記念となる今年は、マップのコンテンツとして、商店街のイケメン店長や、TVで取り上げられたスポットを紹介するコーナーを設けています。

今回も多くの方に参加いただき、開催期間中はマップを片手に街を歩く人や、抽選で期待していた景品が当たり大喜びする人、などが多く見られました。